

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年6月18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101573		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム むくげ	ユニット名	西館
所在地	〒310-0852 茨城県水戸市笠原町358-2		
自己評価作成日	平成23年10月22日	評価結果 市町村受理日	平成24年6月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870101573&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年12月13日	評価確定日	平成24年6月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ゆったりとマイペースで暮らしていける、安心と安らぎのある家庭的なホーム作りをしている。管理栄養士が立てた献立で新鮮な食材を使い美味しくいただいている。経営母体が病院の為、24時間対応や日常の相談、受診を随時行うことができる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>運営母体が病院であり24時間往診可能な緊急体制が整っているほか、訪問診療や病院の送迎車による通院を支援するなど、健康管理を重視しており、利用者や家族等の安心につながっている。運営母体の管理栄養士が献立を作成し、利用者にあった形態の食事を提供している。事業所は茨城県庁の近隣にあり大型店舗や飲食店があるにも関わらず、自然の中で四季を感じながら穏やかに暮らすことのできる環境である。事業所は3ユニットが広い廊下でつながっているので、利用者同士が自由に行き来でき、天候の悪い日は事業所内での移動が運動となっている。職員は利用者一人ひとりの能力に応じて役割が担えるように支援し、利用者は職員と協力し充実感を持ちながら穏やかで活気ある生活をしている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時、当ホームの理念を唱和し理念に基づいた支援が出来るように努めております。	運営母体の理念と全職員で作成した地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を玄関や事務室、各ユニットに掲示するとともに、毎日の朝礼時に全職員で唱和し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事のある時はご近所に声掛け、招待状を配布している。職員が市のボランティアをしている関係上花の苗を何年も配布されている。	町内会に加入していないが、利用者は職員と一緒に中学校で行われる地域の敬老会や小学校での盆踊りに参加をしている。近隣住民から介護方法について相談を受けた場合はアドバイスをしたり、近隣の事業所を紹介するなどしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々がいつでも見学出来るような場を作っている。認知症地域サポート相談員をしている。積極的に研修生の受け入れを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開催し、活動状況を報告したり、意見交換を図り、サービスの向上に活かしている。	運営推進会議は市職員や地区の代表、家族等の代表、事業所職員で2ヶ月に1回開催しているが、毎回同じ委員の参加となっており、幅広い意見を取り入れるまでには至っていない。	有識者や市社会福祉協議会、保健所、ボランティアなどに運営推進会議への参加を呼びかけ、幅広い意見が得られるよう取り組むとともに、運営推進会議の開催にあたっては年間計画を立て、委員が参加し易いように工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議、生活保護の担当者、権利擁護自立支援の担当者さんと密に連絡を取り相談にのって頂いている。	管理者は事業所の運営状況を市担当者に伝えるとともに相談をしながら協力体制を築き、連携を図っている。 運営推進会議で市担当者から情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての話し合いを職員とし、拘束のないケアを心がけている。止む得ない場合は、必ずご家族の同意を得るように努めています。	職員は身体拘束排除マニュアルに基づいた研修を受講し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 事業所の玄関前は抜け道となっているため、交通量が多い道路なので事故防止や危険防止のために玄関を施錠しているが、各部屋からは庭への出入りが自由となっている。 家族等の承諾を得た上で排泄に問題のある一部の利用者には夜間つなぎ服を使用しているが、家族等から書面で同意を得るまでには至っていない。	やむを得ず身体拘束をしなければならない場合は家族等に説明し書面で同意を得るとともに、経過観察記録を作成し、身体拘束をしなくて済むように職員で定期的に話し合うことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	申し送り時や日常生活の仕事の中で、常にスタッフ同士で意見交換をして、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員には資料を配布している。必要に応じて制度の活用をしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず契約の時、説明して同意を得ております。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の時、家族に気付いた点等を伺い、運営推進会議などに伝え意見の検討を行い介護サービスや運営につなげる努力をしている。玄関に意見箱を設置している。重要事項説明書には国保連への苦情について案内しており、速やかな対応を心掛けている。	年1回介護相談員を受け入れ、利用者が意見や要望を表出できる仕組みを設けている。 事業所を訪れる家族等が少ないため、一部の家族等の意見しか得ることができない。 利用者や家族等から出た意見等は全職員で検討するとともに記録に残し、運営に反映させている。 玄関に意見箱を設置するとともに重要事項説明書に苦情相談受付窓口として事業所の管理者や統括責任者、国民健康保険団体連合会を記載しているが、市担当課を明記するまでには至っていない。	多くの家族等から意見や要望が得られるように、無記名のアンケートを実施することを期待する。 苦情相談受付窓口として地域密着型サービスの管轄である市担当課を明記することを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	関連事業所の全体会議で運営者は意見を聞く機会を設けている。毎日の申し送り時、月1回の全体会議の時など随時意見や提案の検討が出来る体制にある。	代表者は月1回の全体会議で職員から意見や提案を聞き、出た意見等を運営に反映させている。 管理者はミーティング時のほか普段から職員の意見や提案を聞くよう努めているが、個別に職員の意見を聞く機会を設けるまでには至っていない。	大勢の前で意見を出し難い職員に配慮して個別の職員ヒアリングや無記名のアンケートを実施し、出た意見等を運営に反映させることを提案する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々にあった勤務状況を把握し、各自が楽しく仕事出来るよう努力している。資格取得を支援、昼休みの残り番手当、日、祭日手当、賞与の反映がある。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	その都度、介護技術向上の為資料配布を行い、各自勉強している。年4回から5回位全体で勉強会を行う予定である。2回目が12月予定である。研修報告書は職員が閲覧できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との情報交換は行っているが、見学等には至っていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の訴えを傾聴し、安心出来るよう支援し、スムーズに施設での生活に移行出来るよう関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の面接相談の時には家族が困っている事や希望を伺い、本人の意思とは別に把握するよう心がけることによって信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の不安に思っていることに対して、必要な支援を優先し、市町村担当者への相談、連携で対応をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活を送りながら信頼関係を築き、家族の様な雰囲気になっている。解からない事を教えて貰ったり、相談を受けたりしながら生活している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は日々の暮らしの出来ごとや気づきの情報共有に努め、本人と一緒に支える為に家族と思いを共有していく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親せき等電話の取り次ぎや、来訪者の際の面会には本人との関係が途切れないよう過ごしやすい雰囲気になっている。	利用者は家族等と一緒に昔住んでいた家や馴染みの場所へと出かけている。 隔月第3火曜日は理容師、第3木曜日は美容師が事業所を訪れ、利用者と馴染みの関係が築かれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に皆と一緒に会話出来るよう孤立しないよう間に入り、良い関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の為の退院の場合には機会があるごとに様子を伺いにいたり、面会のない場合は電話で、状態や状況を伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族の意向を踏まえ自分らしさを大切に生活出来るよう努めている。意思疎通の困難な方は家族から情報を得るようにしている。	職員はフェースシートから利用者一人ひとりの情報を得ているほか、思いや暮らし方の希望を聴き意向の把握に努めている。思いを表出できない利用者の中には家族等から話を聴いたり、日々の生活の様子を基に職員同士で話し合い全職員で共有している。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族に聞いたり、入所後本人に聞いたりして、ケース記録やアセスメントに記入し、職員同士共有してケアに活かしている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で出来る事と出来ない事をアセスメントし出来ない事へのお手伝いをしている。	/		/	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員で申し送り時、カンファレンスを行い介護計画作成やモニタリングを行う。本人や家族から聞き取ることが出来る時は反映している。	介護計画は、家族等の来訪が少ないとの理由から医師や職員の意見を基に作成しており、利用者や家族等の意見を反映した介護計画を作成するまでには至っていない。介護計画書の署名欄や捺印欄に家族等の記入漏れが散見される。モニタリングを3ヶ月毎に実施し現状に即した介護計画を作成するとともに、短期目標は3ヶ月毎、長期目標は6ヶ月毎に見直している。	来訪する機会が少ない家族等の場合でも郵便などを活用して介護計画を確認してもらい、署名や捺印が得られるよう取り組むことを期待する。会う機会が少ない家族等は文書で意見を求め、利用者や家族等の意見を取り入れた介護計画を作成することを期待する。現状に即した介護計画作成のためにモニタリングは月に1回実施することを期待する。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日ケア記録に身体的状況や本人の言葉、健康状態などを記入して職員で共有している又利用者さんの状態把握と生活支援を行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、家族の事情に即したサービスの提供に努め柔軟に対応している。病院の通院、送迎、買い物、緊急時受診、車の手配、付き添い等、その後の経過も家族に連絡している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月2回のシルバーリハビリ体操や年4回のサックス奏者、行事等の時のボランティアさんに協力して頂いている。又運営推進会議の際に民生員さんと意見交換をしたり、情報を得ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に説明をし、受診や通院はご本人や家族の希望に応じて対応している。事業所の経営母体は医療法人であり24時間対応出来る。家族同行が不可能な場合は職員が同行していく。	運営母体が24時間対応可能な病院なので、殆どの利用者が運営母体の病院の医師をかかりつけ医としている。 運営母体の医師による訪問診療を月2回支援しているほか、毎週土曜日に病院の送迎車による受診支援を行い、結果は病院と事業所それぞれから家族等に報告している。 利用者や家族等が希望する運営母体以外のかかりつけ医への受診は、家族等が付き添っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	経営母体の看護師に何時でも電話で相談出来、アドバイスを貰い活かしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が長くないよう情報交換し、本人が安心出来るよう努めスムーズな退院を支援している。頻繁に病院への面会を行い状態把握をおこなっている。直接医師に聞く事もある。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に応じて終末期のあり方や、重度化に関して面会の際に家族と話し合う機会がある。看護師、主治医との連携を図り情報を共有して取り組んでいる。	事業所は看取りをしない方針で、契約時に利用者や家族等に「グループホームむくげにおける重度化・看取りに関する説明及び同意書」で説明し同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故マニュアルや緊急時対応マニュアルがあり、全ての職員が閲覧し把握に努めている。又対応法など常に話し合っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルはあり、把握には勤めておりますが、実際にはなかなか訓練どうりにはいかないものです。全職員での実践的な訓練をこれからも行っていきたいです。	避難訓練は消防署立会いのもと利用者として職員で年2回実施しているが、近隣住民の参加を得るまでには至っていない。通報、消火、避難訓練などの総合訓練を実施し、訓練で明らかになった反省点や問題点、今後の対応策を記録に残している。1日分の食糧のほか、ユニット毎に20の飲料水12本とタンク水を1つずつ、多量の菓子を備蓄しているが、一覧表で賞味期限や在庫数を管理するまでには至っていない。	近隣住民の参加を得た避難訓練を実施するとともに、備蓄品の一覧表を作成して賞味期限や在庫数を管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自分を置き換え常に意識を持ち話し合いながら対応し、プライバシーを損ねないように努めています。	職員はトイレ誘導の際は周囲に気付かれないようにさりげなく声をかけている。介護記録などの個人情報各ユニットの人目に付き難い場所に設置しているカラーボックスに収納し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々利用者の様子観察を行い、何をしたいのか理解したり小さな変化もキャッチ出来るよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで生活出来るよう、好きな事を共に楽しむレクリエーションを提供するなど希望にそいながら、個別対応に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張理美容のサービスがあります。化粧などを楽しむ機会があります。眉や口紅を毎日書きおしゃれを楽しみ、心身の状態も良くなった方もおります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや大根下ろし、下膳、テーブル拭き等の手伝いを声掛けると進んで行ってくれる。食事は職員と利用者さんが同じテーブルを囲んで、楽しい食事が出来る雰囲気を作る事を大切にしている。	食堂からは厨房の様子がよく見え、利用者が手伝いをしたくなるような家庭的な厨房となっている。 法人の管理栄養士が利用者にあった献立を作成している。 利用者は職員と一緒に一人ひとりの能力に合わせて食事の準備や配膳、下膳、洗い物などを楽しみながらしている。 食事の始めと終わりには、利用者が「何月何日何ご飯いただきます」、「ご馳走さまでした」と順番にかけ声をかけ、食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作っている。水分、食事摂取量を記録。食欲低下した際は主治医への相談を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前のうがいや食後の歯磨き義歯洗浄は力量に応じて誘導や声掛け準備などして毎日行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の状態や体調に合わせた排泄ケアを行い皮膚トラブル予防のための清拭をその都度行っている。トイレ誘導や声掛けにより、自立した排泄の支援を行っている。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの習慣や排泄パターンを把握し、声かけをしながら適切にトイレ誘導をしている。 夜間おむつを使用している利用者の場合でも昼間はパットや紙パンツを使用し、職員の適切なトイレ誘導によりおむつをしないで済むように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の摂取や散歩、レクリエーションの機会を設け適度な運動や生活リハビリによる自然排便を促している。便秘には腹部マッサージを行う。主治医への相談で処方がある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	どこかのユニットで入浴をしており、希望があればいつでも入れるようにしてあるが、利用者さん自身あまり利用されないのが難点。	週2回午前中に入浴となっているが、利用者がいつでも好きな時に入浴ができるように、ユニット毎に入浴日を変えている。浴槽には利用者の清潔と健康を考え、竹酢水を入れて入浴を楽しめるよう支援をしている。 入浴を拒む利用者には「温泉に行こう」、「綺麗になろう」など声かけに工夫をしたり、シャワー浴や足浴に変更している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩、外気浴を促し、生活リズムを整える様勤めております。体調、表情を考慮してゆっくり休息出来る様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方の際、服薬情報を綴じ職員の誰もが閲覧出来る様になっている。誤薬が起らないよう処方の一包化や配薬時の確認、飲み終わるまでの見守りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	居室掃除、草取り、新聞折り、洗濯干し、洗濯たたみ等一人ひとりの力に活かした役割を持って頂けるように支援しています。行事、ボランティアさんの踊り、演奏又外食等日常に変化や楽しみが持てる様支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日などは散歩や外気浴に出掛けております。戸外活動は利用者一人ひとりの意見を取り入れ可能な限り思いに添った支援に努めております。又家族対応での外泊、外出があり社会参加への継続を支援している。	3パターンの散歩コースがあり、利用者は天気の良い日は職員と一緒に近くの川沿いや県庁周辺、小学校周辺を季節を感じながら散歩をしている。 散歩に行けない利用者は居間の窓際で日光浴をしながら職員と一緒に体操をしている。 市が運営する施設めぐりバスを利用して、青柳の市場や芸術館、植物園に利用者全員と職員で出かけるなど、遠出ができるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持管理は難しいが一部の方は小銭を持ち自販機、電話を利用している。買い物等必要な支援は家族、職員が行っている。入居者さんを連れて買い物ができるのは理想です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置してあり、いつでも利用出来る様になっている。呼び出したり、取り次ぎの支援もしている。手紙を書く入居者さんには便箋、封筒の買い物投函も行う。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に不快の刺激が無いようにスタッフ一同配慮し、共用の空間にも長椅子を置き、居心地の良い空間を作っている。	居間には庭に出られる大きな窓を設置し、その大きな窓から自然光を取り入れている。 共用空間の壁には利用者と職員と一緒に作成した季節の壁飾りが飾られ、居心地よい空間となっている。 庭にデッキや椅子を設置し、利用者がゆったりのおんびり過ごせるよう配慮をしている。 浴室の脱衣所にトイレや椅子を設置し、安心して入浴が楽しめるよう工夫をしている。 各ユニットを行き来ができる廊下は、車いす使用の利用者や歩行練習の利用者が安心して通れるよう十分な広さを確保するとともに、暖かい環境になっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールの空きスペースに長椅子を設置してあります。中庭にも椅子がありいつでも自由に使えるようにしてあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇や自分の作品、写真など使い慣れた物を部屋に持ち込まれ、利用者の居心地の良さに配慮している。	居室にはエアコンやベッド、洗面台、整理箆笥、カーテンが備え付けられている。利用者は仏壇や位牌、今まで使用していた桐箆笥、使い慣れた椅子、家族の写真、孫の書いた絵、ぬいぐるみなど思い思いの物品を自由に持ち込み、居心地よく暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内はバリアフリーになっており、すべての所に手すりを取り付けられ安全の確保と自立への配慮をしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームむくげ

作成日 平成24年6月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	同じ家族の面会が多い。 遠方の方、働いている方も多い。	運営委員を増やす。	2カ月1回第4水曜日である事を浸透させる。早目の連絡を心がける。面会時の声掛けをする。	一ヶ月
2	5	玄関の施錠	身体拘束はしない。	毎日のミーティングにて夜勤者さん共に話し合う。現在つなぎはその日に内に禁止している。	1日・無期限
3	6		にて意見、要望は聞いてきている。無記名アンケートも実施する。	苦情受付のご案内に市担当課をその日の内に明記した。	1日・1ヶ月
4	7		楽しく働きやすい環境を作っていく。	予定表を作り、個別の職員ヒヤリングを行い、意見を運営に反映させていく。	2カ月
5	10		郵便や電話などで、介護計画作成前に意見を求めていく。署名、捺印を貰う。	モニタリング月1回とあるが状態のあまり変わらない方は3か月とする。	1ヶ月 3ヶ月
6	13	近所は働いている方が多い。	備蓄の一覧表を作成	避難訓練をする時は、近所に声掛ける。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。